



®環境省

エコアクション21

認証番号0005819

平成30年度環境活動レポート

(平成30年4月 ～平成31年3月)



株式会社 地研

発行日：令和元年5月12日

【目 次】

1. 組織の概要	P. 1
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	P. 2
3. 環境方針	P. 3
4. 環境経営システム組織図	P. 4
5. 環境目標	P. 5
6. 環境活動計画	P. 6
7. 環境目標の実績	P. 7
8. 環境活動計画の取組結果とその評価	P. 8
9. 次年度の環境活動計画の取組内容	P. 9
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P. 10
11. 代表者による評価と見直しの結果	P. 11

【添付資料】

活動状況写真

自然保護団体への支援活動(エコキャップ)

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 地研

代表取締役社長 大西 鋼

(2) 所在地

本社：〒780-0974 高知県高知市円行寺25番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 山本亮輔

E-mail: r-yamamoto@k-chiken.com

担当者 事業部調査課 課長 山中仁人

E-mail: y-yamanaka@k-chiken.com

連絡先 TEL ; 088-822-1535

FAX ; 088-822-1548

(4) 事業内容（認証・登録の範囲）

建設コンサルタント業：国土交通大臣・第8753号

地質調査業：国土交通大臣・第1328号

測量業：国土交通大臣・第16041号

建設業：高知県知事許可（特-28第942号） とび・土工工事業, さく井工事業

(5) 事業の規模

設立年月日 昭和45年1月31日

資本金 25,000千円

活動規模	単位	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
売上高	百万円	343	382	420	546	483	482	509	494	564
従業員	人	20	22	24	24	24	25	25	25	27
床面積	m ²	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0
（社屋）	m ²	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9
（倉庫）	m ²	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1

（各年9月末）

従業員は、令和元年5月12日現在

(6) 会計年度 平成30年10月 ～ 令和元年9月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

(1) 対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社 地研 全社（全組織・全活動）

対象事業所

本社：780-0974

高知県高知市円行寺25番地

事業活動：建設コンサルタント業、地質調査業、住宅地盤調査業
建設業（とび・土工工事業, さく井工事業）

(2) レポートの対象期間

平成30年4月～平成31年3月

(3) 発行日

令和元年5月12日

(4) 次回発行予定日

令和2年5月予定

(5) 作成責任者

環境管理責任者 山本亮輔

3. 環境方針

当社は、公共事業を主体とした地質コンサルタントであり、地域社会と地球環境の保全に対し、自主的で継続的な取り組みを通じて「社会の持続的発展」に向け努力し、企業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を行う。

1. 当社は事業活動のあらゆる面で、環境関連の法律・規制・条例を遵守し、全社員の参加で環境保全に取り組む。
2. 環境方針を達成するための目的及び目標を設定し、定期的に見直ししながら、継続的な改善を図る。当社の環境保全活動として、次の事項を活動項目として推進する。
 - ①事業所の事業活動における環境負荷の低減
二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量を把握し、使用量の低減や再資源化を推進する。
 - ②グリーン購入の徹底
自らが購入する製品・原材料については、グリーン購入を徹底する。
 - ③提供する製品及びサービスにおける環境への取り組み
地質コンサルタントとして、環境に配慮した調査・設計、環境負荷の少ない工法の採用を推進する。
3. 地域社会の一員として、自覚と責任を持ち、地域における環境保全に努める。
4. 全社員に環境方針を周知・徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、積極的に公表する。

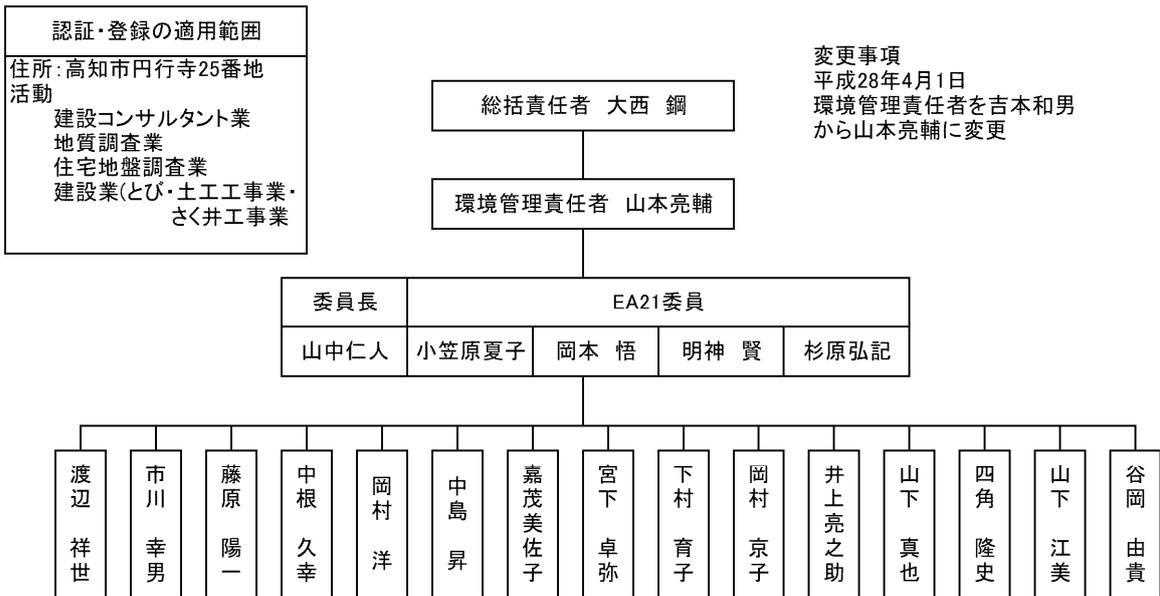
制定日：平成21年11月10日

改定日：平成28年4月 1日

株式会社 地 研

代表取締役 大西 鋼

4. 環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
環境統括責任者 社長 大西 鋼	<ul style="list-style-type: none"> ○環境方針の決定 ○環境管理責任者の任命 ○環境経営システムの実施に必要な資源を準備 ○環境目標及び環境活動計画書を承認 ○環境経営システム全体の評価と見直し
環境管理責任者 山本 亮輔	<ul style="list-style-type: none"> ○環境経営システムを構築し運用・管理を行う ○環境目標及び環境活動計画書の確認 ○環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ○環境目標及び環境活動の達成状況より、必要な場合は是正処置を行う ○環境関連外部コミュニケーションの窓口
EA21委員 山中 仁人	<ul style="list-style-type: none"> ○環境目標、活動計画書の原案作成 ○環境目標及び環境活動に向けた取り組みの推進を図る ○環境管理責任者の業務を補佐する ○関連文書の記録・管理を行う ○従業員への教育訓練の実施 ○環境関連法規等取りまとめ表の作成 ○環境関連法規等取りまとめ表に基づく 遵守評価の実施 ○環境活動レポートの作成、公開（事務所に備え付と地域事務局へ送付）
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ○データ収集と数値を記録し委員長に提出する ○委員会からの周知を受け、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境目標

(1) 単年度目標

項目	単位	基準年度 H21.4～H22.3	平成30年 H30.4～H31.3	基準年度比
電灯使用量	kWh	31,673	20,000	63%
低電圧使用量	kWh	11,350	10,000	88%
ガソリン使用量	ℓ	33,252	20,000	60%
軽油使用量	ℓ	2,961	500	17%
灯油使用量	ℓ	157	400	255%
LPG使用量	kg	11	10	91%
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	101,657	60,112	59%
水道水使用量	m ³	334	240	72%
産業廃棄物排出量	kg	1,950	2,700	138%
一般廃棄物排出量 (紙資源リサイクル量)	kg	525	1,000	190%
グリーン購入	%	—	70%	—
環境配慮設計	件	—	1業務/年	—
環境負荷の少ない工事 (元請1000万円以上)	件	—	1件/年	—

(2) 中・長期目標

項目	単位	基準年度 H21.4～H22.3	R1年 H31.4～R2.3	R2年度	R3年度	R4年度
電灯使用量	kWh	31,673	20,000	目標設定に当たっては前年度の実績及び事業量の変動等を踏まえて検討する。		
低電圧使用量	kWh	11,350	10,000			
ガソリン使用量	ℓ	33,252	20,000			
軽油使用量	ℓ	2,961	500			
灯油使用量	ℓ	157	400			
LPG使用量	kg	11	15			
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	101,657	60,127			
水道水使用量	m ³	334	270			
産業廃棄物排出量	kg	1,950	2,700			
一般廃棄物排出量 (紙資源リサイクル量)	kg	525	1,000			
グリーン購入	%	—	70%			
環境配慮設計	件	—	1業務/年			
環境負荷の少ない工事 (元請1000万円以上)	件	—	1件/年			

6. 環境活動計画

期間： 平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量の削減	電気量使用量の削減 ・電気 ・低電圧	1. 昼食時及び不使用部屋消灯。 2. エアコン使用時の室内温度管理の徹底。 (冷房28℃、暖房20℃) 3. 夏場、社屋南側のブラインドを閉める。 4. 休日前はPCのコンセントを抜く。	山中 仁人
	燃料使用量の削減 ・ガソリン ・軽油 ・灯油 ・LPG	1. ファンヒータ使用時の室内温度の徹底。 2. エコ安全ドライブの推進 (ステッカー表示) 3. 車両の買い替え時は低燃費車の導入を検討する。 4. 暖房機器の交換時には、環境に配慮した機器の購入を積極的に行う。	
水使用量の削減		1. 節水表示を行う。 2. 節水コマ。	明神 賢
産業廃棄物排出量削減		1. 再利用可能なリサイクル化。 2. マニフェストによる廃棄物の適正管理。	岡本 悟
一般廃棄物排出量削減 (紙資源リサイクルの促進)		1. 不要原紙の再利用(適正なリサイクル)。 2. 両面印刷・コピーの周知。 3. FAXの電子化を周知。 4. 個人の出すゴミは持ち帰る。	山中 仁人
グリーン購入		1. エコ・リサイクル製品を積極的に購入。 2. 購入計画については、購入実績70%以上にできる よう積極的にエコ商品の購入を行う。	小笠原 夏子
環境配慮設計		1. 調査設計業務は、環境に配慮した提案を行う。	山本 亮輔
環境負荷の少ない工事		1. 工事用看板は県産木材を活用する。 2. 低騒音・排ガス規制機械の使用。 3. 施工計画書にEA21に関する項目の明記。	現場代理人
地域貢献活動		1. ロードボランティアによる地域の清掃。	ワークショップ委員会
		2. 秋のおもてなし一斉清掃。	山中 仁人
		3. 現場周辺の道路等の清掃。	現場代理人
交通エコポイント活用社会還元事業への寄付		交通エコポイント (10,000ポイント/1口)	山中 仁人
エコキャップの回収		社内・外で発生するペットボトルのキャップを積極的に収集・提供を行い、エコキャップ運動に協力する。	全社員

7. 環境目標の実績

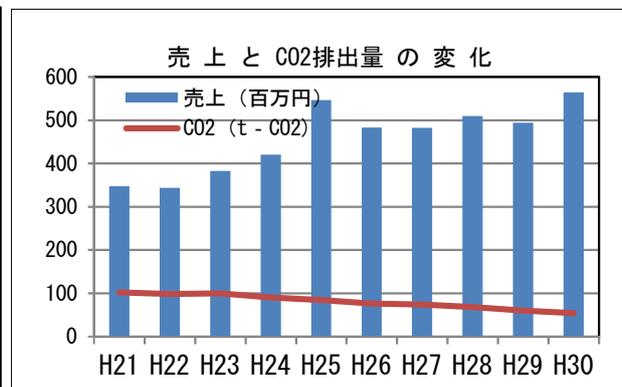
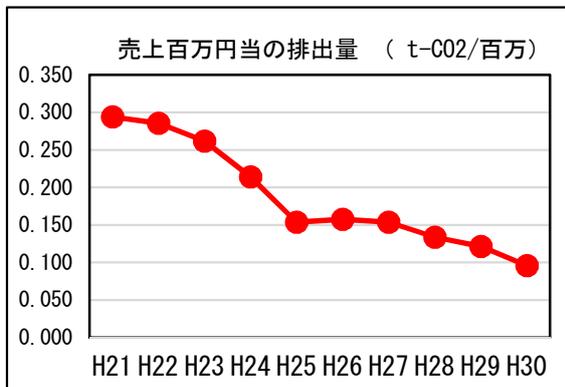
(1) 本年度実績

項目	単位	基準年度 H21.4~H22.3	平成30年目標 H30.4~H31.3	平成30年実績 H30.4~H31.3	対目標率 (%)	評価
電灯使用量	kWh	31,673	20,000	18,235	91.2%	○
低電圧使用量		11,350	10,000	8,024	80.2%	○
ガソリン使用量	ℓ	33,252	20,000	18,608	93.0%	○
軽油使用量	ℓ	2,961	500	121	24.2%	○
灯油使用量	ℓ	157	400	54	13.5%	○
LPG使用量	kg	11	10	15.5	155.0%	×
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	101,657	60,112	53,626	89.2%	○
水道水使用量	m ³	334	240	268	111.7%	×
産業廃棄物排出量	kg	1,950	2700	5,070	187.8%	×
再資源化率	%	—	100	100	100.0%	○
一般廃棄物排出量	kg	525	1000	1,083	108.3%	△
グリーン購入	%	—	70%	70%	100.0%	○
環境配慮設計	件	—	1業務/年	1業務/年	100.0%	○
環境負荷の少ない工事	件	—	1件/年	3件/年	300.0%	○

※電力のCO₂排出係数は、0.378kg-CO₂/kWh を使用

(2) 基準年以降のCO₂排出量の推移

年度	単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
売上高	百万円	347	343	382	420	546	483	482	509	494	564
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	102	98	100	90	84	76	74	68	60	54
百万円当の排出量	t-CO ₂ /百万円	0.294	0.286	0.262	0.214	0.154	0.157	0.154	0.134	0.121	0.096



(3) エネルギーコスト概算

	単位	使用量	単価(H29実績)	金額(円)
電力		26,259	33	866,547
ガソリン		18,608	138	2,567,904
軽油		121	87	10,527
灯油		54	91	4,914
LPG		15.5	2033	31,512
合計金額				3,481,404

年間のエネルギーコストは概算で348万円で、昨年度より10%(39万)の減となる。

(4) CO₂ → 1トン当たりのエネルギーコスト

H30年の試算では、1トン当たりのCO₂は6.5万で、昨年度と同程度である。

8. 環境活動計画の取組結果とその評価

期間：平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

(1) CO2排出量の削減

CO2の排出量は、目標値に対し約11%の削減となった。また、平成29年度との比較では受注量が14%程度増になっているにもかかわらず、約11%の削減されていることも踏まえると、社員のエコに対する意識向上は継続している。

①電灯・低電圧について

目標値を10～20%下回る結果となった。今後も引き続き、不要電灯の消灯、エアコン使用時の室内温度管理について周知・徹底するよう努める。今年度は室内温度の見える化として、デジタル表示計の設置を行った。

②ガソリン・軽油・灯油・LPG

目標値に対し、LPGを除く項目については、7～86%の削減となっている。この中で、ガソリンは目標値に対し約7%の削減となった。軽油は約75%の削減となっているが、工事の受注が少なかったことによるもので、受注量に対し大きく変化するため、使用管理を徹底する必要がある。灯油はエアコンを主体に使用したため、灯油の使用量が少なくなり、目標値を大きく下回っている。LPGは目標値を50%上回る結果となった。要因としてガス給湯器の使用が冬場に多くなったことが原因である。この項目については、冬場の気温が大きく左右するが、目標値に近づけるよう社員全体で努力する。

(2) 水道水の使用量

目標値から約12%の増加となった。今後も継続して節水に取り組む。

(3) 産業廃棄物排出量の削減

目標値に対し、約188%の増加となった。再資源化率では100%達成できた。工事物件の受注量により左右されるため、今後も産廃を極力減らすよう努力する。

(4) 一般廃棄物排出量削減(紙資源リサイクル量)

目標値に対し、概ね計画通りの結果となった。今後も、不要紙の再利用の活動を徹底する。

(5) グリーン購入

グリーン商品を積極的に購入しており、目標は達成できた。

(6) 環境配慮設計

本年度、環境に配慮した設計業務は、目標1件に対し1件であった。

業務名：「平成30年度 30災委第1号市道城東線道路災害復旧工事設計委託業務」

排土を極力少なくする設計を行い、土の運搬時のCO2削減を配慮した設計を行った。

(7) 環境負荷の少ない工事

本年度、環境負荷の少ない工事は、目標1件に対し、3件であった。

工事名：「安芸市はたやま憩の家温泉源泉洗浄及び揚水試験、廣瀬製紙株式会社 井戸洗浄工事、農基第8020-001号須崎地区地すべり防止施設補修標識取替工事」

木製看板の設置、低騒音、排ガス規制機械(発電機、コンプレッサ)を使用した。

(8) 環境活動等

①ロードボランティアによる地域の清掃(1回/2か月)

②秋のおもてなし一斉清掃(2018.10.23実施)：高知駅周辺

③交通エコポイント活用社会還元事業へ交通エコポイント(10000ポイント)を寄付。

④エコキャップ回収(社内で回収したペットボトルのキャップを中間業者を通し、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを委員会」へ寄付した。

9. 次年度の環境活動計画の取組内容

期間： 平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減 ・電気 ・低電圧	1. 昼食時及び不使用部屋消灯。 2. エアコン使用時の室内温度管理の徹底。 (冷房28℃、暖房20℃) 3. 夏場、社屋南側のブラインドを閉める。 4. 休日前はPCのコンセントを抜く。 5. ※PC電源の自動消灯 6. ※冷暖房機器のフィルター清掃(1回/年) 7. ※ウォームビズ、クールビズ対策	山中仁人	通年
	燃料使用量の削減 ・ガソリン ・軽油 ・灯油 ・LPG	1. ファンヒータ使用時の室内温度の徹底。 2. エコ安全ドライブの推進(ステッカー表示)。 3. 車両の買い替え時は低燃費車の導入を検討する。 4. 暖房機器の交換時には、環境に配慮した機器の購入を積極的に行う。 5. ※適正な運行計画 6. ※忘れ物をしない 7. ※燃費の把握	山中仁人	通年
水使用量の削減		1. 節水コマの継続使用。 2. ※洗いのまとめ洗い。 3. ※蛇口の漏水点検	明神 賢	通年
産業廃棄物排出量削減		1. 再利用可能な物のリサイクル化。 2. マニフェストによる廃棄物の適正管理。	岡本 悟	通年
一般廃棄物排出量削減 (紙資源リサイクルの促進)		1. 不要原紙の再利用(適正なリサイクル)。 2. 両面印刷・コピーの周知。 3. FAXの電子化を周知。 4. 個人の出すゴミは持ち帰る。 5. ※不要資料の不受理(営業カタログなど)	山中仁人	通年
グリーン購入		1. エコ・リサイクル製品を積極的に購入。 2. 購入計画については、購入実績70%以上にできるよう積極的にエコ商品の購入を行う。	小笠原夏子	通年
環境配慮設計		1. 調査設計業務は、環境に配慮した工法の提案。 2. ※掘削量を軽減できる工法の提案。 3. ※運送時のCO ₂ 削減を踏まえた軽量材料の提案。	山本亮輔	適宜
環境負荷の少ない工事		1. 工事用看板に県産木材を活用する。 2. 低騒音・排ガス規制機械の使用。 3. 施工計画書にEA21に関する項目を明記。 4. ※工事前に環境パトロールを実施し、施工計画書に反映させる。	現場代理人	適宜
地域貢献活動		1. ロードボランティアによる地域の清掃。	ワークショップ委員会	適宜
		2. 秋のおもてなし一斉清掃。	山中仁人	適宜
		3. 現場周辺の道路等の清掃。	現場代理人	適宜
交通エコポイント活用 社会還元事業への寄付		交通エコポイント(10,000ポイント/1口)	山中仁人	適宜
エコキャップの回収		社内・外で発生するペットボトルのキャップを積極的に収集・提供を行い、エコキャップ運動に協力する。	全社員	通年

※新規活動

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況

法規名	適用条項	具体的内容	担当者	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理。	岡本 悟	遵守
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理。 産業廃棄物の委託契約。		
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付。		
	第13条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び高知県知事及び高知市長への提出。		
	省令第7条の三	見やすい場所に表示板を設置 (縦60cm以上×横60cm以上)		
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出。 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	山本亮輔	遵守
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出。 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)		遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律 (リサイクル法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル。		遵守
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化費用の低減努力。 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力。		遵守
水質汚濁防止法	第12条	事業所排出口における排水基準に適しない排出水の排出制限。		遵守
	第14条	排出水の汚染状態の測定等。		
浄化槽法	第8条 第9条 第10条 第11条	浄化槽の保守点検(1回/3ヶ月) 浄化槽の清掃(1回/年) 浄化槽管理者の義務 浄化槽の定期検査(1回/年)	遵守	
高知市環境基本条例	第5条	事業者の責務 ○事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動を行うにあたっては、これに伴って生ずる公害を防止し、廃棄物を適正に処理し、及び自然環境を適正に保全するために必要な処置を講ずるとともに、環境の保全上の支障を防止するため事業活動に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない。 ○前項に定めるもののほか、事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動に関し、地域社会の一員として、地域の環境の保全及び創造に自ら積極的に努めるとともに、市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する責務を有する。	遵守	
高知市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	第4条	事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。		
高知県環境基本条例	第6条	事業者の責務 事業者は基本理念にのっとり、その事業活動を行うにあたっては、これに伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な処置を講ずる責務を有する。		

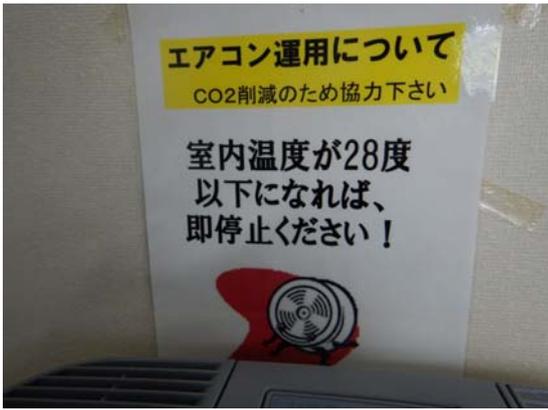
(2) 環境関連法規等の違反・訴訟等の有無

平成30年4月1日～平成31年3月31日までに、環境関連法規等の違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直しの結果

環境管理責任者の報告及び改善への提案		代表者による見直し																																								
報告日:平成31年4月12日		変更の必要性の有無・指示事項																																								
<p>[取り組み状況の評価結果]</p> <p>①環境関連法規制等の順守状況(環境関連法規等順守記録)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順守 <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動計画の取組内容を強化するため、次年度環境活動計画の取組みに新規活動を追加した。(問題点は正/予防処置表) <p>③前回までの代表者の指示事項への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LPGを削減するため、使用方法、温度管理を徹底したが、目標を達成できなかった。 ・環境配慮設計及び環境負荷の少ない工事については、昨年度と同程度の件数を施行することができた。 <p><改善への提案></p> <p>エコに対する意識向上のため会社全体で情報共有に努める。</p>		<p>[環境方針]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>環境方針は社員全体に浸透しており、環境活動によるCO₂削減量は、平成24年より減少傾向が継続していることから、現在のところ変更の必要性はないと考える。</p>																																								
<p>[目標・環境活動計画の達成状況]</p> <p>(詳細は7. 環境目標の実績参照)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値達成状況</th> <th>活動計画に対するコメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電灯・低電圧の使用量</td> <td>○</td> <td>引き続き活動内容を継続する。</td> </tr> <tr> <td>ガソリン使用量</td> <td>○</td> <td>エコドライブに対する意識が継続している。</td> </tr> <tr> <td>軽油使用量</td> <td>○</td> <td>工事の受注量に影響されるため、使用管理を徹底する。</td> </tr> <tr> <td>灯油使用量</td> <td>○</td> <td>室内温度を意識し、使用していることが伺える。</td> </tr> <tr> <td>LPG使用量</td> <td>×</td> <td>目標値を約50%程度上回ったが気温に左右されるため、今後も引き続き節約するよう社員全体で努力する。</td> </tr> <tr> <td>CO₂排出量</td> <td>○</td> <td>平成23年以降、CO₂の削減が継続しており、社員全体に意識向上が伺える。</td> </tr> <tr> <td>水道水使用量</td> <td>×</td> <td>目標値を上回っており、次年度は目標値の見直しを行い、引き続き節水に努める。</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物排出量</td> <td>×</td> <td>目標値に対し、大きく上回る結果となった。工事物件の受注量により左右されるため、今後も産廃を極力減らすよう努力する。再資源化率では100%達成できた。</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物排出量</td> <td>△</td> <td>目標に対し約8%上回った。今後も不要原紙の再利用の活動を徹底する。</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入</td> <td>○</td> <td>毎年エコ商品を積極的に購入しており、特に問題なし。</td> </tr> <tr> <td>環境配慮設計</td> <td>○</td> <td>継続して環境に配慮した商品の提案を継続する。</td> </tr> <tr> <td>環境負荷の少ない工事</td> <td>○</td> <td>継続して環境に配慮した資材材を計画する。</td> </tr> </tbody> </table>		目標項目	目標値達成状況	活動計画に対するコメント	電灯・低電圧の使用量	○	引き続き活動内容を継続する。	ガソリン使用量	○	エコドライブに対する意識が継続している。	軽油使用量	○	工事の受注量に影響されるため、使用管理を徹底する。	灯油使用量	○	室内温度を意識し、使用していることが伺える。	LPG使用量	×	目標値を約50%程度上回ったが気温に左右されるため、今後も引き続き節約するよう社員全体で努力する。	CO ₂ 排出量	○	平成23年以降、CO ₂ の削減が継続しており、社員全体に意識向上が伺える。	水道水使用量	×	目標値を上回っており、次年度は目標値の見直しを行い、引き続き節水に努める。	産業廃棄物排出量	×	目標値に対し、大きく上回る結果となった。工事物件の受注量により左右されるため、今後も産廃を極力減らすよう努力する。再資源化率では100%達成できた。	一般廃棄物排出量	△	目標に対し約8%上回った。今後も不要原紙の再利用の活動を徹底する。	グリーン購入	○	毎年エコ商品を積極的に購入しており、特に問題なし。	環境配慮設計	○	継続して環境に配慮した商品の提案を継続する。	環境負荷の少ない工事	○	継続して環境に配慮した資材材を計画する。	<p>[目標・活動計画]</p> <p>変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p> <p>1. 未達成の項目は原因を検討し、次年度の計画に反映させる。</p> <p>2. LPGは、目標値を約50%上回ったが気温に左右されるため、今後も引き続き節約するよう社員全体で努力する。次年度は目標値の見直しを行う。</p> <p>3. 水使用量は目標値を約12%上回った。今後も引き続き環境活動を継続していくものとし、次年度は目標値の見直しを行う。</p> <p>4. 産業廃棄物排出量は、目標値を大きく上回る結果となった。今後も引き続き、分別、削減に努める。次年度の目標値は直近の3カ年の平均値を採用する。</p>	
目標項目	目標値達成状況	活動計画に対するコメント																																								
電灯・低電圧の使用量	○	引き続き活動内容を継続する。																																								
ガソリン使用量	○	エコドライブに対する意識が継続している。																																								
軽油使用量	○	工事の受注量に影響されるため、使用管理を徹底する。																																								
灯油使用量	○	室内温度を意識し、使用していることが伺える。																																								
LPG使用量	×	目標値を約50%程度上回ったが気温に左右されるため、今後も引き続き節約するよう社員全体で努力する。																																								
CO ₂ 排出量	○	平成23年以降、CO ₂ の削減が継続しており、社員全体に意識向上が伺える。																																								
水道水使用量	×	目標値を上回っており、次年度は目標値の見直しを行い、引き続き節水に努める。																																								
産業廃棄物排出量	×	目標値に対し、大きく上回る結果となった。工事物件の受注量により左右されるため、今後も産廃を極力減らすよう努力する。再資源化率では100%達成できた。																																								
一般廃棄物排出量	△	目標に対し約8%上回った。今後も不要原紙の再利用の活動を徹底する。																																								
グリーン購入	○	毎年エコ商品を積極的に購入しており、特に問題なし。																																								
環境配慮設計	○	継続して環境に配慮した商品の提案を継続する。																																								
環境負荷の少ない工事	○	継続して環境に配慮した資材材を計画する。																																								
<p><改善への提案></p> <p>①LPGは目標値を50%上回る結果となった。要因としてガス給湯器の使用が冬場に多くなったことが原因である。この項目については、冬場の気温が大きく左右するが、目標値に近づけるよう社員全体で努力する。</p> <p>②水使用量は目標値を上回る結果となった。次年度は目標値の見直しを行う。</p> <p>③産業廃棄物排出量は、目標値を大きく上回る結果となった。要因としては、工事物件が昨年度より増えたためである。</p> <p>④一般廃棄物排出量は、目標値に対し約8%上回った。要因としては、売上高が増加したことによるものと考えられる。</p> <p>⑤その他の項目は、目標値内となっているが、今後も継続してエコ活動に努める。</p>		<p>環境経営システム</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>会社全体でエコ活動に対する取組を継続する。</p>																																								
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情なし。 <p>②環境関連法規制等の動向他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月30日、平成30年8月31日、平成31年4月1日に遵守確認。 <p><改善への提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		<p>[総括]</p> <p>1. 企業活動では、前年度同様に環境活動は活発であり、全体として目標値に対し約11%のCO₂排出量の削減が達成できた。ただし、一部の項目(LPG)では目標を上回っているため、再度、使用頻度、温度管理の徹底が必要である。</p> <p>2. 企業活動で消費するエネルギー、廃棄物の削減は、受注金額にもよるが、概ね限界まで来ているものと思われる。今後は、地質コンサルタント業として環境に配慮した設計内容の提案や、環境負荷の少ない工事手法の提案を積極的に行う。</p> <p>3. エコアクション21開始以降、CO₂は平成24年以降、受注量に影響されず低減傾向を示している。又、CO₂排出原単位で見ると、H21年度の運用開始以降、減少傾向を呈しており、効率的、経済的な運用がなされたものと考えられる。これは社員の環境に対する意識が継続していると評価され、環境経営システムは有効に機能していると考えられる。</p> <p>4. エネルギーコストについては、把握・管理して行く必要がある。</p>																																								
<p>代表者が自ら得た情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 																																										

活動状況写真



エアコン運用に対する注意表記



節電表記



エコキャップ回収箱の設置



節電表記



ごみの分別表を社内に表示



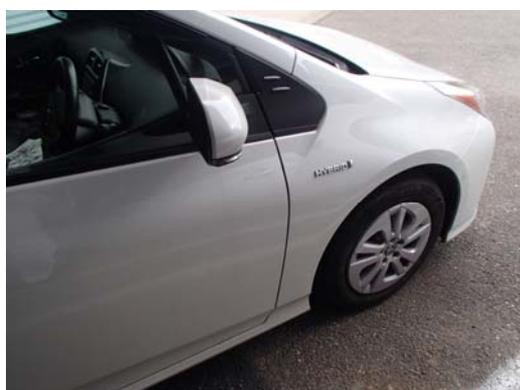
産廃保管施設の設置状況



ロードボランティア活動状況



室内の温度管理状況（デジタル温湿度計による見える化）
 ※デジタル温湿度計は、1Fに1箇所、2Fに2箇所設置



車両の使用状況
 積極的なハイブリッド車の導入状況

環境負荷の少ない工事



AEDの設置状況



消火器の設置状況



低騒音機械の使用状況 (発電機)



低騒音機械の使用状況 (コンプレッサー)



自然保護団体への支援活動

支援団体	支援内容	累積 エコキャップ (個)	累積数量 (kg)	累積 ワクチン (人)	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	903	2.1	1.1	H28.7.19
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	1204	4.9	2.5	H29.4.19
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2107	5.8	5.0	H30.4.13
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	6106	10.2	7.2	R1.6.13

エコキャップ

受領書

2019年 6月13日



限りある資源を未来のために
きれいなまちづくりに奉仕する

株式会社 地研 御中

御担当者 事業部課長補佐 山中仁人 様

産業廃棄物収集運搬及び処理・ビルメンテナンス
株式会社 みどり商会
広島県三原市久井町坂井原253-6
TEL 0847-32-6451
中間処理施設 エコキャップ取扱店
株式会社 みどり商会 第二工場
広島県三原市久井町坂井原106-4
TEL・FAX兼 0847-32-8155

ご住所 高知県高知市円行寺25番地
FAX番号 088-820-7326

今回受領個数	1,892 個	累計受領個数	6,106 個
--------	---------	--------	---------

受取日	数量
2019/6/7	4.4 Kg

ワクチン累計	7.1 人
今回ワクチン	2.2 人

今回 CO2削減	13.9 kg
累計 CO2削減	44.7 kg

ご提供頂きましたエコキャップは、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」様へ
ワクチン代として責任を持ってご寄附させていただきます。

いつもご協力ありがとうございます。

弊社HPをリニューアル致しました。下記のURLが変わっております。

備考

(株)みどり商会はペットボトルキャップ回収を通じて
世界の子どもたちにワクチンを贈っています。
認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)
www.jcv-jp.org
タイアップNo 299

<http://midori-shokai.com/> 弊社ホームページ
<http://midori-shokai.com/?cat=3> エコキャップ累計数量やご発送前の注意点などについて記載しております。

~~~限りある資源を大切に..廃棄物の有効利用・資源化にご協力頂き有難うございます。~~~

エコキャップ運動活動受領書